

What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

編集 事業支援部

INDEX

今号の主な内容

- 福岡市科学館基本展示室に有機EL研究登場 P1
- 九大・理研・福岡市三者連携の取り組み P2
- 九大大学院「分析機器実習」などに協力 P2
- 分析機器を活用した「よろず相談窓口」盛況 P3
- 有機光エレクトロニクス産業化研究会開催 P3
- 第3回ふくおかAI・IoT祭り開催 P4
- オープンデータ推進の取組と民間の活用例 P5
- エンジニアフレンドリーシティ福岡 活動状況 P6
- オープンソースカンファレンス2018 Fukuoka開催 P6
- Joint-IFFセミナー・ワークショップ P7
- FiaS マンスリー カフェ 開催中 P7
- 京都高度技術研究所、九大高等研究院との交流 P7
- ISITからのご報告 P8
- 賛助会員紹介・募集 P8

福岡市科学館 基本展示室 に有機EL研究が登場

平成31年3月

福岡市科学館5階基本展示室の「サイエンス&クリエイティブラボ」に、有機ELに関する展示パネルや教材などが3月6日から登場しています。これは、大学で行われている最先端の研究を市民に分かりやすく説明しようと福岡市科学館が実施しているもので、企画の立案には、科学館のほか、九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）を中心に、九州先端科学技術研究所（ISIT）、有機光エレクトロニクス実用化開発センター（i³-opera）も加わって実現しました。

有機ELの特徴や最新の発光材料についての説明パネルや、発光分子の合成について理解を助ける教材「発光分子研究所」などを前に、熱心に見入ったり触ったりしている親子連れなどで、会場は賑わっていました＝写真。

展示内容の検討に当たった八尋正幸ISIT有機光デバイスグループ長は「最新のスマートフォンやテレビに使われている有機ELは、実は福岡で大きな発展をしてきました。有機ELの最新材料の開発を『発光分子研究所』で体験してみませんか。有機ELの歴史もわかりやすく展示してありますので是非お越しください」と話しています。

場 所：福岡市科学館5階基本展示室（福岡市中央区六本松4-2-1、地下鉄六本松駅すぐ）

期 間：終期末定、9:30～18:00（最終入場 17:30）

休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）及び年末年始（12/28～1/1）

入場料：大人500円、高校生300円、小中学生200円（入場料は本誌発行日現在）



進む九大ー理研ー福岡市・ISIT三者連携の取組 連携フォーラム、ワークショップを開催

平成31年1月・3月

■フォーラム「データ×サイエンス×ビジネス～ AI・デジタルで社会を変える～」

ISITは福岡市・九州大学・理化学研究所（理研）と共同で、平成31年3月6日、福岡市においてデータサイエンスをテーマとするフォーラムを開催しました。

フォーラムは、企業側のニーズや課題と、大学など研究機関による研究成果や技術シーズとが出会い、新たな産業や事業の創出につなげることを目的とするものです。

講師を務めた製造・流通・公共交通やサービスなど各業界の第一線で活躍する地元企業からは、各々のビジネスにおけるデータ利活用について、また九大と理研からはデータサイエンスやAI・データ分析における教育・社会実装・展望などについて情報提供＝左下講演一覧＝がなされ、併せて金融機関、産業支援機関等から、関連の支援施策等が紹介されました。

IT・製造・コンサルティングなど幅広い業種から、経営者や研究・製品開発・営業販売などのビジネス関係者を中心に272名の参加があり、この分野に対する産業界の強い関心が伺えました。

詳しくは <https://fiac2.isit.or.jp/?p=684> をご覧ください。

- ・ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～
旭酒造株式会社 会長 桜井 博志 氏
- ・実店舗小売企業のデジタルトランスフォーメーション挑戦事例
株式会社トライアルホールディングス 取締役副会長 西川 晋二 氏
- ・異業種との事業連携とICT・AIの活用で次世代の公共交通を創る
西日本鉄道株式会社 自動車事業本部 計画部計画課長 阿部 政貴 氏
- ・九州大学におけるデータサイエンス教育
九州大学大学院 システム情報科学研究院 主幹教授 内田 誠一 氏
- ・イノベーション加速時代の未来戦略
理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー 高橋 恒一 氏



■第6回連携ワークショップ

平成31年1月21日には、九大・理研・福岡市主催の連携ワークショップが、福岡市産学連携交流センター（FiaS）にて開催されました。このワークショップは、九大と理研の研究者の連携研究・共同研究を推進することを目的に2013年より定期開催されているもので、6回目となる今回は、高分子科学分野を中心とする両機関の研究者が講演を行い28名の参加がありました。

ISITからは、川畑産学官共創推進室長が各機関の連携・共同研究の促進や支援に関する取り組みを紹介＝写真＝するとともに、FiaS内の研究室や分析機器室等を案内しました。



九州大学大学院カリキュラム 「分析機器実習」などにISITが協力

平成30年11月22日

ISITは人材育成事業の一環として、九大分子システムデバイス 国際リーダ教育センター（平成31年4月1日からは「同 産学連携教育研究センター」に名称変更）と協定を締結し、講義や実習に協力しています。平成30年11月22日には、博士課程教育リーディングプログラム 分子システムデバイスコース所属の修士1・2年生13名を対象に、「分析概論とFiaSにおける課題解決型分析実習」として、一日かけ、分析や特許に関する講義と走査型電子顕微鏡及び透過型電子顕微鏡を用いた課題解決型分析演習を行い、ISITが講師等を務めました。



分析機器を活用した「よろず相談窓口」盛況 ～「分析NEXT」2年で相談件数300件超～

ISITは、福岡市・九州大学・九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）との4者で連携し、製品・材料等の分析・解析につき課題解決を支援する相談窓口を開設しています。

研究や事業化経験豊富な幅広い分野の研究者やエンジニアが、福岡市産学連携交流センターや九州大学に多種ある分析機器も活用しながら、科学の視点から幅広く助言し支援を行います。直近2年で約320件の相談に応じました。大学研究室による最先端の材料開発など後に新たな知見として研究成果につながったものや、地場企業による、農水産や食品製造に関連する商品や資材、金属加工など、多岐にわたる分野の分析・解析相談を受けています。相談は秘密厳守ですが、地場企業からなされた実際の相談のうち相談者の許可を得て、技術課題の解決にあたり共通の要素の多い例を紹介します。分析NEXTホームページの相談事例もご覧ください。 <https://next.isit.or.jp/case/>

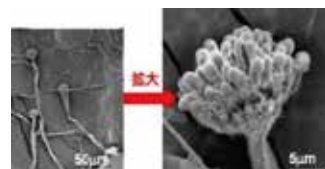
■漁船向け殺菌装置の製品化支援

漁船上での洗浄と殺菌を行うため、海水電気分解により次亜塩素酸水を船上で生成する殺菌装置開発にあたって、技術相談。各種技術課題につき検討し装置化を支援。装置＝写真＝は新商品として展示会に出展された。



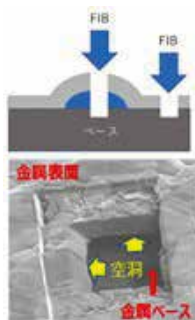
■農業用資材の洗浄剤開発

農業用資材に付着する汚れを洗浄する洗浄剤開発の相談があり、電子顕微鏡による付着成分＝写真＝の分析結果をもとに、それらの汚れを落とすことが可能な洗浄成分・洗浄剤を各種調査提案、開発中。



■金属製品の分析と品質向上

金属製品の品質向上の相談があり、検討分析を実施。イオンビームにより切削したうえで電子顕微鏡による観察＝写真＝で不良部分の原因究明。あわせて実際の工程を確認し、試作品の微小部を電子顕微鏡等により解析している。



■照明器具の改良による新商品開発

販売中の照明器具＝写真＝の改良相談を受け、素材や各種用途に向けた改良を検討後、研究契約を締結し、各所から専門家を招聘したチーム作りと、開発における課題整理や製造方法等に対する助言などを行っている。



相談希望の方は、専用メール bunseki@next-soudan.com で気軽に連絡を。初期相談は無料、以降は有料ですが、共同研究や国・県等の中小企業向け施策活用などの相談にも応じています。

第13回 有機光エレクトロニクス産業化研究会開催

平成30年11月30日

ISITは、福岡県、福岡市、福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）とともに、地場企業の有機EL産業への参入を促すため、有機光エレクトロニクス産業化研究会を開催しています。

今回はテーマを「OLEDの未来デバイス」と設定し、その中でAR/VRや3D、MicroLED等の第一線で活躍する研究者を招き、分かりやすく解説いただきました。また試作品の展示も積極的に行ってもらい、未来デバイスを直接感じる機会としました。当日は89名の参加を得て、スマートグラス、デバイス作成プロセスや市場動向などの幅広い内容での質疑応答が活発に行われ、OLED分野でもAR/VRが注目の技術である様子が伺えました。

ISITは、福岡市・福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)・NPO法人QUESTとの共同主催により、平成31年2月15日、福岡SRPセンタービル2階の全フロアを使って「第3回ふくおかAI・IoT祭りin SRP」を開催しました。

今回はメインテーマを「AI×IoT×データ資本主義」で『新しい福岡』を創造する!とし、SRPホールでは、このテーマに沿った講演が行われました。

九州大学名誉教授で株式会社チームAIBOD取締役副社長の村上和彰氏による基調講演では、「福岡のAIベンチャー企業が世界に向けて挑戦する『新しいAI&デジタルビジネス』の全容」のタイトルで、同社顧客企業のAI活用とデータ活用(データアセット化&価値化)、デジタル変革を推進し、その骨格を成す「AIDI(AIデザイン&インテグレーション)」及び「PI(プラットフォームイノベーション)」の2つのビジネスプロセスが紹介されました。

また、株式会社ABBALab代表取締役の小笠原治氏による基調講演「スタートアップとデータ・エコシステム」では、新しいデータ・エコシステムによるデータの重要性と、過去において未来のことを予測していたオムロン社の例を挙げ、新しい取組と並行して過去の振り返りも必要ではないかとの示唆がなされました。この他、ソフトバンク株式会社、LINE Fukuoka株式会社、株式会社ZOZOテクノロジー、xData Allianceなど各企業や団体による講演も同ホールで行われました。

フロアには複数会場が設けられ、IoTを活用した新サービス創出のためIoT向け通信ネットワークを市内広域に構築する福岡市の取組、通信ネットワークを支える技術、加えてAI/IoT活用による社会課題解決など今後の展開などを紹介する「LoRaWANセミナー」、FITCO会員によるIoT導入事例と企業紹介、「ブロックチェーンとエネルギー・トークンエコノミー」と題した一般社団法人DELIAのセミナー等もあり、熱心に聴き入る人や会場間を行きかう人で賑わっていました。

「シビックテックシンポジウム」においては、シビックテック活動を広げ、継続していく上でのヒントを得るための招待講演が行われ、九州7県において地域課題に取り組んでいる各団体の活動が紹介されました。さらに各団体の代表者によるパネルディスカッションも行われ、シビックテック活動の課題を共有するとともに、今後のシビックテックについての議論が活発に行われました。

そのほか、Joint-IFFによるAIとの共創を目指すセミナー・ワークショップ=7頁に記事、ももち浜TECHカフェ主催のワークショップも同時に行われるとともに、賛助会員企業・団体のうち36社が出展した展示ブースでは、「出展企業と情報交換ができ有用な機会となった」との意見も多数いただき、例年以上の盛り上がりを見せていました。

当日は、ISITとSRPビルと共同事業である1階のSRP-OILも開放し、多数の来場者に最新のICT技術を体験していただいたり、技術相談や交流の場を提供したりする等、地域への貢献をアピールする機会となりました。当イベントでは約490名の来場者を迎え、盛況のもと幕を閉じました。詳細は

<http://www.fitco.jp/event/2019/maturi2019/> にも掲載しています。



■BODIK オープンデータセンターが内閣官房「オープンデータ100」に掲載

内閣官房IT総合戦略室「オープンデータ100」にBODIKオープンデータセンターが選ばれ、政府のCIOポータルに掲載されました。

オープンデータ100とは、同室が実施しているオープンデータ推進プロジェクトであり、オープンデータの取組を検討する際の参考となるよう、様々な事業者や地方公共団体等によるオープンデータの利活用事例を収集し公開しています。平成31年3月には全国各地の特筆すべき継続的なイベントやプロジェクト等を公開するために、アクティビティ部門が新たに設けられ、この部門の第1号として選出されたものです。ISITは平成29年10月に全国で最初のオープンデータセンターを開設し、自治体へのセミナー・研修の実施などを通じて、オープンデータの推進に継続的に努めてきたことが評価されました。

詳しくは、検索ワード「地方のオープンデータの取組状況について」及び「オープンデータ100」により、PDFデータとサイトを参照ください。

■九州オープンデータ推進会議

第11回九州オープンデータ推進会議（事務局 ISIT）を平成31年3月1日久留米市役所本庁舎で開催しました。会議では、福岡市、北九州市、久留米市、福岡県からオープンデータの推進状況が報告されました。福岡市からは、福岡都市圏17市町を中心に公共交通機関の時刻表や経路情報を標準的なフォーマットであるGTFS（公共交通機関の時刻表と地理的情報に関するオープンフォーマット）で公開する取組について報告がありました。また、ISITからはBODIKオープンデータカタログサイトの利用状況（26自治体、2広域都市圏で利用中）と、ISITが受託し実施している総務省のオープンデータリテラシー育成研修の実施状況について報告致しました。

<https://www.bodik.jp/municipality>

■民間によるオープンデータ活用事例紹介 ～校区情報サービス～

ISIT、株式会社シティアスコム、株式会社駅前不動産ホールディングスの3社は、福岡市のオープンデータを活用することにより、不動産物件仲介サービス（Webサイト等）において、小・中学校区（以降、校区）に関する情報を提供する「校区情報サービス」を平成30年11月から開始しました。これにより、利用者は物件がどの校区に属しているのかを確認でき、希望する校区内の物件に絞って探すことが可能になりました。

さらに本サービスでは、校区の境界を物件検索の地図に重ねて表示させることができ、利用者は関心のある特定の校区内の物件だけを簡単に検索することが可能となりました＝下図。

ISITは、校区などの地理空間データと統計などのCSV（カンマで区切られたテキストファイル）形式のデータを組合せ、API（アプリケーション・プログラミング・インタフェース）を通じて柔軟に取り扱うことができる汎用的なデータプラットフォームを開発しました。今後は、ハザードマップ等、他の地理空間データや様々な種類のCSV形式のデータについても広く利用できるようデータプラットフォームを強化します。



周辺情報	
※周辺情報の距離は直線距離になります。	
周辺施設	
コンビニ	セブンイレブン福岡七隈七丁目店：100m
スーパー	サニー七隈店：1,000m
病院	福岡大学病院：400m
その他	福岡県大牟田病院：700m
校区	
小学校	七隈小学校：800m
中学校	福岡中学校：800m

不動産物件の詳細画面に
小学校区名・中学校区名を表示



エンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC) OSS Gate fukuoka 開催



「OSS Gate」とは、OSS（オープンソースソフトウェア）開発に参加する人を増やそうと、2015年に東京で始まった取り組みです。エンジニアフレンドリーシティ福岡（EFC）は、OSS開発に関わることでITエンジニアとしての経験や能力が向上するという考えのもと、福岡でもOSS開発に関わるきっかけや場を作るため、エンジニアの皆さんの協力を得て「OSS Gate fukuoka」を開催しました。

第1回を平成31年1月15日と17日＝写真右上、第2回を3月11日と12日＝写真右下、それぞれ2日掛け、G's BASE様、株式会社ヌーラボ様、GMOペパボ株式会社様より提供いただいた会場にてワークショップを開催しました。第1回はビギナー（OSS未経験者）とサポーター（同経験者）合わせ30名程度、第2回目は同じく9名のエンジニアの皆さんが参加されました。

ビギナーの皆さんは、OSS Gateの説明を聞き、またサポーターから直接大事な点を教わりながら、各自で実際にOSSを動かして作業し、最後にはFlaskやA-Frameなどにプルリクエストを送ることができるなど、しっかりと成果を上げることができました。

詳しくは、EFCホームページ <https://efc.isit.or.jp/> に開催レポートを掲載しています。



《エンジニアフレンドリーシティ福岡》 エンジニアと福岡市が協力し、エンジニアがここで働きたいと思うようなまちづくりを目指すムーブメントです。ISITは、福岡市と連携し、事務局としてエンジニアコミュニティの見える化やエンジニアのモチベーションアップ、またエンジニアと多くの業種の企業や学校、学生との連携等につながる取組みを進めます。

ISIT 共催 オープンソースカンファレンス2018 Fukuoka

平成30年12月8日

12月8日(土)、福岡SRPセンタービルで、オープンソースカンファレンス(OSC)が開催されました。オープンソース関係の最新情報の提供による福岡地域のエンジニアの技術力向上、オープンソースコミュニティの連携促進を目的とする催事で、OSC福岡実行委員会が主催、ISITは共催しています。

オープンソースソフトウェアの最新情報を伝えるセミナーと、オープンソースコミュニティの活動を紹介する展示で構成され、今年度は36のセミナーと37のブース出展があり、約380名の来場者を数えました。

坂本好夫OSC福岡実行委員長は「福岡地区では12回目を迎え、定番のイベントとなりました。今後は、エンジニアフレンドリーシティの取り組みとも連携していきたいですね」と今後の展望とあわせて語っています。



Joint-IFFビジネスモデルに活かすための アイデア発想支援セミナー・ワークショップ

平成31年2月

ISITは、公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）及び公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）との三者による地域イノベーション創出コンソーシアム「Joint-IFF」の取り組みの一環として、「ビジネスモデルに活かすためのアイデア発想支援セミナー・ワークショップ」を開催しました。

今回は、ビジネスモデルツールや知的財産情報の活用、デザイン思考の導入などを通じ、ユーザー目線のアプローチから、今後進んでいくAIとの共創を目指し、AIにはできない人間のクリエイティブさを追及することを目標とし、「顧客の課題」の深掘りや「リーンキャンパス（事業構想）」作りにトライしました。

【講師】羽立 幸司 氏

知的財産総合事務所 NEXPAT 代表弁理士（日本弁理士会 九州支部 副支部長）

■2月15日（金）10:00～15:00（福岡市会場：福岡SRPセンタービル2階研修室2）

■2月26日（火）13:00～17:00（北九州市会場：COMPASS小倉会議室A（AIMビル6階）



FiaS Monthly Café 好評開催中

平成31年1月～

福岡市産学連携交流センター（FiaS）入居者間の交流や、市民や地場企業、大学関係者等の出会いを促進する場としてFiaSを活用しようと、平成30年1月から、福岡市、ISIT、九州大学、OPACK、FiaS指定管理者の西鉄ビルマネージメント(株)が共同し、FiaS Monthly Café（フィアス・マンスリー・カフェ）をおよそ月1回のペースで開催しております。

毎回、入居機関所属者などが話題提供者となり、専門的な研究でありながらも、異分野の方々に分かるようかみ砕いて語り掛け、30名程度の参加を得ています。下記はこれまでのテーマと話題提供者の例です。

- 第1回「金のはなしー採掘現場から切子、国宝紅白梅図屏風までー」講師：山田 淳（ISIT所長）
- 第2回「魚の鮮度と美味しさ・糸島半島は美味しい魚の宝庫！」講師：杉本 昇（ISIT特別研究員）
- 第3回「化粧品のサイエンス」講師：後藤雅宏（九大・主幹教授）



京都高度技術研究所(ASTEM)及び 九州大学高等研究院との研究交流会

平成31年1月・2月

ISITは、他機関と研究交流会を定期開催しています。

1月21日には、京都高度技術研究所(ASTEM)を迎え、ISITとASTEMの研究者がそれぞれ発表後、意見交換や提案等を行いました。

また、2月7日には、九州大学高等研究院との交流会を福岡市産学連携交流センター（FiaS）で開催しました。これは両機関が進める研究の学内外への発信、異分野研究者間の交流機会の創出、産学官連携促進を目的とするもので、4名の口頭発表に加えて、ファシリテータの話題提供、意見交換等を通じて、分野を越えた交流が行なわれました。

今後も、こうした場を通じ、相互理解や交流を深め、新テーマの創出や共同研究の芽を育んでいきます。



ISIT からのご報告

■事務局長就任のあいさつ

4月1日から事務局長に就任しました川崎日出雄です。

福岡市役所OBで、市では労務、子育て支援、卸売市場など様々な部署を歴任しましたが、主に労務分野の業務に長く従事してまいりました。城南区長を最後に退職後は、サンセルコビル管理株式会社代表取締役社長、公益財団法人ふくおか環境財団理事長を務めました。

微力ではございますが、これまでの経験を生かし、事務局員、研究者の方と共に当財団が先端科学技術等に係る産業の振興と地域の活性化に貢献できますよう頑張っておりますのでよろしくお願い致します。

■東ディレクターが「オープンデータ伝道師」に任命される

当研究所の東富彦ディレクターが、これまでのオープンデータの利活用による取組と実績が評価され、平成31年3月、内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室より「オープンデータ伝道師」に任命されました。

「オープンデータ伝道師」とは 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室がオープンデータの公開と利活用を拡大し、加速させることを目的として、実際に現場で活躍している、オープンデータ利活用を推進するための実績、経験等を備えた人材を伝道師として任命するもので、伝道師は実際に全国の地方自治体等へ派遣され、研修等を行うことにより、実体的な公開と利活用の推進をリードしていく役割を果たします。



賛助会員《法人・個人》のご紹介

新規賛助会員ご紹介〔種別・加入順〕

■スターティアラボ株式会社 様

デジタルマーケティング領域に特化した事業者向けツールやサービスを開発する MarTech カンパニーです。

■荒巻 久幸 様

賛助会員のトピック紹介

■株式会社正興電機製作所 様

平成30年12月7日、東京証券取引所第一部に上場しました。

■株式会社新興精機 様

平成30年12月25日、「地域未来牽引企業」に選定されました。

地域未来牽引企業 https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/chiiki_kenin_kigyuu/index.html

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介(リンク等)

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付等

詳細はこちらまで! ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<http://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発 行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル7F〉

Fukuoka SRP Center Building 7F

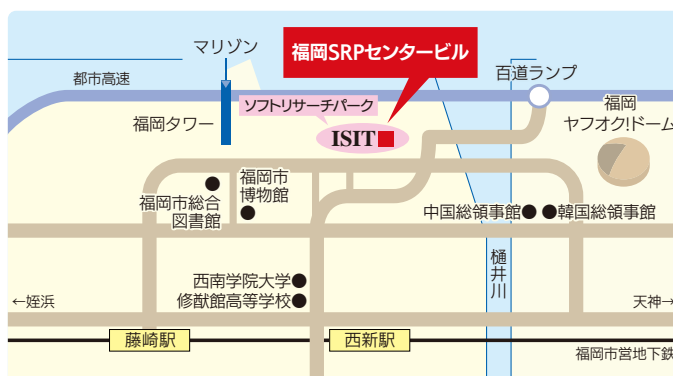
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450

■ FAX 092-852-3455

■ URL: <http://www.isit.or.jp>

■ 制作: 株式会社西日本高速印刷

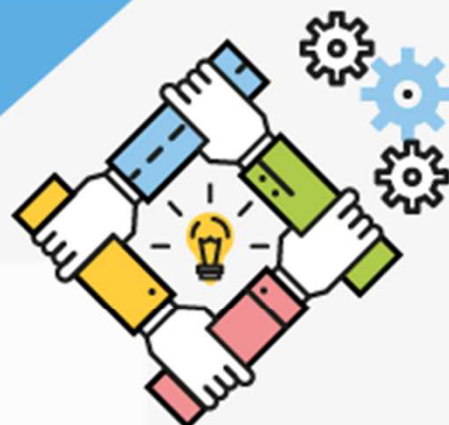


賛助会員入会のご案内

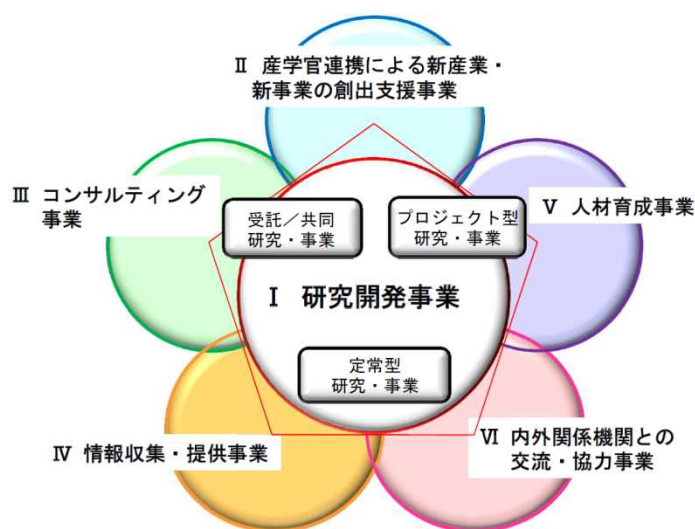
当財団の事業目的に賛同して頂ける方
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中

主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における**共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究**を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。



産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細: <http://www.isit.or.jp/project/>



【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel: 092-852-3450 Fax: 092-852-3455
E-mail: isit-soumu[at]isit.or.jp ※ [at]=@
〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル7階

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 宛

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

年 月 日

ふりがな			
団体名 又は氏名	※法人会員の場合は団体名、個人会員の場合は氏名を正式名称でご記入ください。当研究所のWEBに掲載させていただきます。		
代表者氏名	※個人会員の場合は記載不要 印		
住 所	〒		
電話番号	※法人会員の場合は代表番号をご記入ください。	FAX番号	
入会理由 ※複数選択可	1. 研究開発内容に関心あり 2. 共同研究/共同提案等の実施等 3. コンサルティング(技術相談等)の活用 4. セミナー・交流会等の活用 5. 情報収集等 6. その他()		
申込口数	※番号に○をつけて、申込み口数をご記入ください。 1. 法人会員 口 2. 個人会員 口 (6万円/口) (1万円/口)		
メールアドレス	※各種セミナーや講習会などのご案内や賛助会員様への連絡等をお送りする宛先になりますので、必ずご記入ください。		
WebページURL	※当研究所のWEBでのリンク設定を希望されない場合は、□にチェックを入れてください http:// □当研究所の賛助会員ページに上記URLをリンクすることに同意しません。		
※団体(法人会員)での申込みの際は以下もご記入ください。			
担当部署名			
担当者名		電話番号	
備 考			